

2026年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年2月9日

上場会社名 株式会社ロブテックス 上場取引所 東
コード番号 5969 URL <https://www.lobtex.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 地引 俊為
問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員 管理部長 (氏名) 森下 幸治 TEL 072-980-1110
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無：無
決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期第3四半期の連結業績（2025年4月1日～2025年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期第3四半期	4,092	△2.5	81	△55.8	91	△55.7	37	△69.5
2025年3月期第3四半期	4,197	△1.8	184	△12.1	205	△8.1	124	△2.0

(注) 包括利益 2026年3月期第3四半期 113百万円 (△23.4%) 2025年3月期第3四半期 147百万円 (△27.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期第3四半期	20.31	—
2025年3月期第3四半期	66.66	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年3月期第3四半期	8,522	4,899	57.5
2025年3月期	8,611	4,841	56.2

(参考) 自己資本 2026年3月期第3四半期 4,899百万円 2025年3月期 4,841百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	0.00	—	30.00	30.00
2026年3月期	—	0.00	—		
2026年3月期（予想）				30.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2026年3月期の連結業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,630	△1.4	110	△46.6	110	△50.6	50	△35.3	26.78

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有
連結業績予想の修正については、本日（2026年2月9日）公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」
をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年3月期3Q	2,000,000株	2025年3月期	2,000,000株
② 期末自己株式数	2026年3月期3Q	132,600株	2025年3月期	132,600株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2026年3月期3Q	1,867,400株	2025年3月期3Q	1,867,403株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料の3ページ「1. 経営成績等の概況（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(セグメント情報等の注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8

1. 経営成績等の概況

（1）当四半期の経営成績の概況

当第3四半期連結累計期間の我が国経済は、雇用や所得環境の改善が見られた一方で、資材価格高騰等による物価の上昇、ウクライナや中東の不安定な情勢の長期化、米国による関税政策によって、先行きが不透明な状況が続きました。

このような状況の下、当社グループでは、経営ビジョン「モノづくりのプロにゆだね、モノづくりの愉しさを育む」、経営スローガン「私たちは工具を通じ、あらゆるモノづくりの要求に応え、つくる愉しさを伝え広げる事で社会に貢献します」の発信と浸透を更に進め、経営課題である「業務の整流化を徹底し、利益体質の強化を図る」を追求し、経営目標達成に向け努力してまいりました。

そして、その経営ビジョンを押し進めるにあたり、経営課題の解決に向け、新規開発事業部、ハンドツール事業部、ファスニング事業部の3事業部において事業収支改善を徹底することで「業務の整流化」と「利益体質の強化」を図りました。

新規開発事業部では、新規商品の開発、新規調達先の開拓を加速、充実を図りました。

ハンドツール事業部では、開発から生産までの商品化プロセスを加速させ、安定的且つ効率的供給体制を構築し、特に生産拠点であるグループ会社、鳥取ロボスターツール株式会社との連携を図ることにより収益力の強化を行いました。

ファスニング事業部では、需要が増加している接合作業の自動化装置など、ファスニング分野のさらなる伸長を図るため、技術開発、営業、アフターサービス部門が一体となり、お客様の要求に“きめ細やかに”そして、市場ニーズを的確に捉えるべく製販一体となって対応しました。また、グループ会社でありファスナー専門商社の株式会社ロブテックスファスニングシステムと連携の下、営業力の強化を図り、同社の管理、品質、技術部門を当社と連携することで販路拡大に特化・集中できる体制としたことにより、省人化を目的としたリベッティングの自動機やシステム物件の引き合いが増加傾向にあり、着実に受注に結びつきました。

しかしながら、売上高は前年同期比2.5%減の4,092百万円（前年同期4,197百万円）と減少しました。利益面におきましても、営業利益は同55.8%減の81百万円（同184百万円）、経常利益は同55.7%減の91百万円（同205百万円）、親会社株主に帰属する四半期純利益は同69.5%減の37百万円（同124百万円）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

①金属製品事業

ハンドツール事業では、国内売上においては、電設工具が好調でしたが、海外売上において、特に韓国における市況の低迷が影響し、電設工具及びプライヤ類の販売が低調に推移しました。また、新シリーズである“J-CRAFT99”においては販売を強化し、国内海外ともに新規取扱店の拡大が進んでいます。

一方、ファスニング事業においては、2024年6月に連結子会社である株式会社ロブテックスファスニングシステムを100%子会社化したことに伴う一部商品のグループ会社外への移管による売上減少の影響がありましたが、国内・海外ともに省人化を目的としたリベッティングの自動機やシステム物件の引き合いが増加傾向にあり、特に国内では着実に受注・売上に結びつきました。

しかしながら、金属製品事業の合計売上高は、前年同期比2.6%減の3,907百万円（前年同期4,010百万円）となり、セグメント損益については、新規アイテムの生産・発売と在庫評価に関する費用発生に伴う売上原価率の上昇があり、6百万円の損失(同92百万円の利益)となりました。

②レジャー事業

ゴルフ練習場における売上高は、サービス向上や集客施策を実施してまいりました結果、来場者数は微増したものの、一人当たりの売上高が減少したことなどにより、前年同期比1.1%減の185百万円（前年同期187百万円）となりました。セグメント利益については、経費節減に努めたものの、練習用ボールの一部入れ替え等による運営維持費用の増加があり、同4.4%減の87百万円（同91百万円）となりました。

（2）当四半期の財政状態の概況

当第3四半期連結会計期間末における総資産は8,522百万円となり、前連結会計年度末に比べ88百万円減少しました。

（資産）

流動資産は前連結会計年度末比116百万円減の5,640百万円となりました。これは主に棚卸資産が増加する一方で、現金及び預金や受取手形及び売掛金が減少したことによるものです。

固定資産は同27百万円増の2,881百万円となりました。これは主に減価償却の計上による減少がある一方で、投資有価証券の時価上昇による増加や設備投資の実施があったことによるものです。

（負債）

流動負債は前連結会計年度末比7百万円増の2,259百万円となりました。これは主に未払費用並びに未払法人税等が減少する一方で、買掛金や短期借入金が増加したことによるものです。

固定負債は同153百万円減の1,363百万円となりました。これは主に繰延税金負債の増加がある一方で、長期借入金が減少したことによるものです。

（純資産）

純資産は前連結会計年度末比57百万円増の4,899百万円となりました。これは主に配当支出による減少がある一方で、投資有価証券の時価評価に伴うその他有価証券評価差額金の増加や親会社株主に帰属する四半期純利益の計上による増加があったことによるものです。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年3月期通期の連結業績予想につきましては、最近の業績の動向等を踏まえ、通期の業績予想を修正いたしました。詳細につきましては、本日（2026年2月9日）公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,287,897	2,114,968
受取手形及び売掛金	934,697	760,032
電子記録債権	227,099	270,141
商品及び製品	1,443,285	1,657,027
仕掛品	435,152	408,950
原材料及び貯蔵品	330,447	330,152
その他	98,965	99,665
流動資産合計	5,757,545	5,640,939
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	721,747	677,271
土地	668,226	668,226
その他（純額）	558,568	510,152
有形固定資産合計	1,948,542	1,855,651
無形固定資産	30,261	31,751
投資その他の資産	875,081	994,274
固定資産合計	2,853,885	2,881,676
資産合計	8,611,431	8,522,615

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	232,055	274,799
短期借入金	1,515,870	1,546,910
未払法人税等	57,968	16,501
その他	445,820	421,472
流動負債合計	2,251,715	2,259,683
固定負債		
長期借入金	1,333,386	1,136,748
退職給付に係る負債	87,968	95,547
その他	96,374	131,607
固定負債合計	1,517,728	1,363,902
負債合計	3,769,443	3,623,585
純資産の部		
株主資本		
資本金	960,000	960,000
資本剰余金	493,710	493,710
利益剰余金	3,279,500	3,261,414
自己株式	△164,534	△164,534
株主資本合計	4,568,676	4,550,591
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	273,310	348,438
その他の包括利益累計額合計	273,310	348,438
純資産合計	4,841,987	4,899,029
負債純資産合計	8,611,431	8,522,615

（2）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
（四半期連結損益計算書）

（単位：千円）

	前第3四半期連結累計期間 （自 2024年4月1日 至 2024年12月31日）	当第3四半期連結累計期間 （自 2025年4月1日 至 2025年12月31日）
売上高	4,197,714	4,092,239
売上原価	2,882,016	2,865,507
売上総利益	1,315,697	1,226,731
販売費及び一般管理費	1,131,046	1,145,130
営業利益	184,651	81,601
営業外収益		
受取配当金	20,831	24,451
受取精算金	16,286	-
その他	6,607	12,041
営業外収益合計	43,725	36,492
営業外費用		
支払利息	22,160	25,561
その他	567	1,424
営業外費用合計	22,728	26,986
経常利益	205,648	91,107
税金等調整前四半期純利益	205,648	91,107
法人税等	78,663	53,171
四半期純利益	126,985	37,936
非支配株主に帰属する四半期純利益	2,502	-
親会社株主に帰属する四半期純利益	124,482	37,936

（四半期連結包括利益計算書）

（単位：千円）

	前第3四半期連結累計期間 （自 2024年4月1日 至 2024年12月31日）	当第3四半期連結累計期間 （自 2025年4月1日 至 2025年12月31日）
四半期純利益	126,985	37,936
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	20,579	75,128
その他の包括利益合計	20,579	75,128
四半期包括利益	147,564	113,064
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	146,479	113,064
非支配株主に係る四半期包括利益	1,085	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

Ⅰ 前第3四半期連結累計期間（自 2024年4月1日 至 2024年12月31日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			四半期連結 損益計算書 計上額
	金属製品事業	レジャー事業	計	
売上高				
外部顧客への売上高	4,010,458	187,256	4,197,714	4,197,714
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—
計	4,010,458	187,256	4,197,714	4,197,714
セグメント利益	92,885	91,766	184,651	184,651

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間（自 2025年4月1日 至 2025年12月31日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			四半期連結 損益計算書 計上額
	金属製品事業	レジャー事業	計	
売上高				
外部顧客への売上高	3,907,127	185,112	4,092,239	4,092,239
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—
計	3,907,127	185,112	4,092,239	4,092,239
セグメント利益 又は損失（△）	△6,136	87,737	81,601	81,601

(注) セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
減価償却費	163,426千円	160,954千円